

質問
振動（圧電） + 音波連成解析 は可能か？

回答
振動する物体を振動源にし、音波と連成解析を行う事ができます。強連成と弱連成を選択できます。（以下に手順を示します）

解析条件の設定

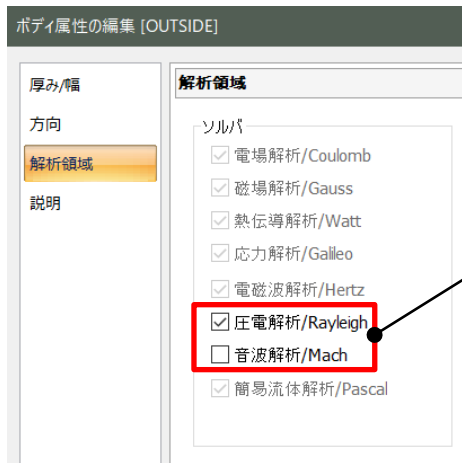


「圧電解析」「音波解析」の2つを選択



「強連成」をチェック
「圧電性」を考慮しない場合は
「電位」を拘束（チェック）する

ボディ属性



固体は「圧電解析/Rayleigh」をチェック
媒質は「音波解析/Mach」をチェック
両方にチェックが入ることはない

圧電音波弱連成解析

(圧電→音波 一方向連成解析)

音波が構造体を震わせる効果は計算できない。
遮蔽板の外の音波は計算できない。

圧電音波強連成解析

(圧電⇔音波 双方向連成解析)

音波が構造体を震わせる効果も計算できる。遮
蔽板の外の音波も計算できる。ただし計算時間
が長い

